

茨城大学の 現場が動きだす 大学教育の マネジメントとは――

『学修の質保証』への転換

公開拡大
FD

2023

9 / 8

FRI

14:00

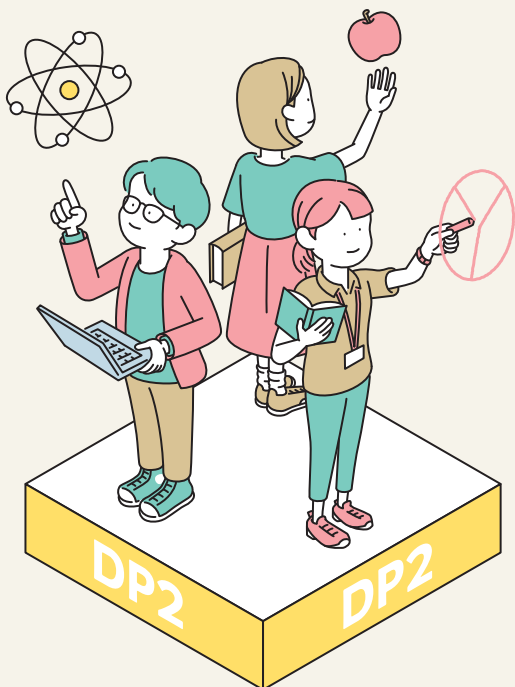
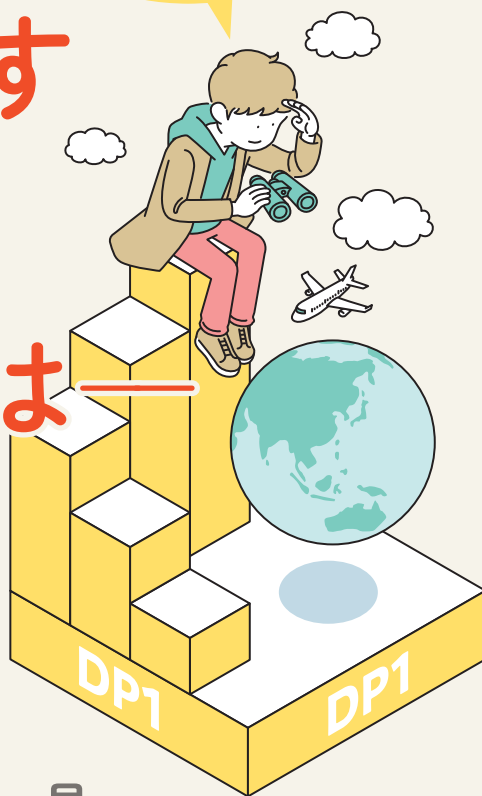
16:30

会場

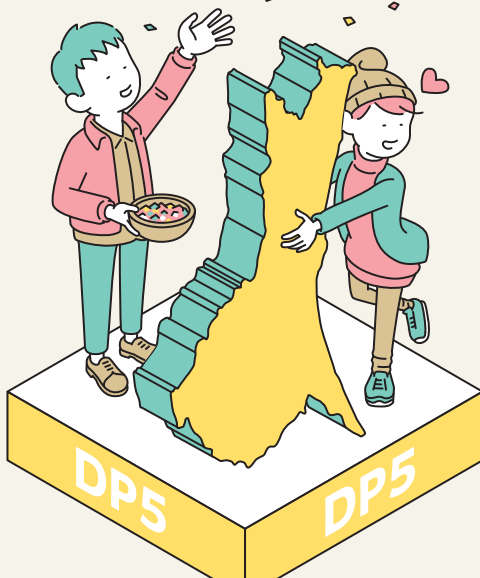
茨城大学
水戸キャンパス
図書館本館3階
ライブラリーホール

オンラインで
同時配信

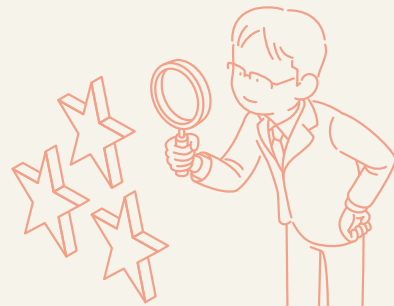
詳しくはこちら



見渡してみる、
これからの大学教育。



大学教育のマネジメントの これからの考えます。



茨城大学では、教員個人、学科・コース等、学部、全学という4階層に基づく教育の質保証システムによる教育改善に取り組んだ結果、学生の学修達成度向上などの顕著な成果が見られました。今年4月には、その成果や特色についてまとめた一般書籍『現場が動きだす大学教育のマネジメントとは—茨城大学「教育の質保証」システム構築の物語』(技術評論社)も発刊しました。本学の取組は、大学の教育に関する評価や質

保証について、ディプロマ・ポリシーの活用、間接評価を基盤とした学修者本位の質保証、内部質保証の実質化といった観点から新たな視座を提示し得るものといえます。

そこで今回、高等教育論の研究者や中等教育の関係者などを招き、本学の質保証の取組を事例として取り上げながら、これからの教育のマネジメントのあり方を展望する公開拡大FDを企画しました。

日時

2023年9月8日(金)
14時～16時30分

会場

茨城大学 水戸キャンパス(水戸市文京2-1-1)
図書館本館 3階 ライブラリーホール ※オンライン配信あり

主催

国立大学法人
茨城大学

プログラム

1

基調講演

大学の質保証の 社会的意味と課題

名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 准教授
丸山 和昭 氏

2

報告

茨城大学の 『現場が動きだす教育マネジメント』

茨城大学 学長
太田 寛行

茨城大学 全学教育機構 教授
鳧田 敏行

3

パネルディスカッション

教育質保証の理論と実践— 教育の質から学修の質へ

パネラー

名古屋大学大学院
教育発達科学研究科 准教授
丸山 和昭 氏

茨城県立
勝田中等教育学校 校長
下山田 芳子 氏

ライター
高橋 盛男 氏

茨城大学 学長
太田 寛行

モデレーター

茨城大学 全学教育機構 教授
鳧田 敏行



登壇者プロフィール

名古屋大学大学院教育発達科学研究科 准教授

丸山 和昭 MARUYANA Kazuaki

1982年山形県鶴岡市生まれ。2009年3月、東北大学大学院教育学研究科博士後期課程修了、博士(教育学)。2009年4月、東北大学大学院教育学研究科教育ネットワークセンター教育研究支援者。2010年10月、福島大学総合教育研究センター特任准教授(2012年4月より准教授)。2015年10月、名古屋大学高等教育研究センター准教授、現在に至る。



茨城県立勝田中等教育学校 校長

下山田 芳子 SHIMOYAMADA Yoshiko

英語教諭(イギリス立教英国学院、日立第一高等学校等)、高校教育課指導主事(茨城県教育委員会)、英語教科調査官(文部科学省)等を経て現職。



ライター

高橋 盛男 TAKAHASHI Morio

雑誌メディアを中心に、旅行、歴史、ビジネス、教育などの取材記事を執筆。本業の傍ら地元の千葉県松戸市で長年、まちづくりや都市緑地の保全活動、市民活動コーディネーターなども務めている。『現場が動きだす大学教育のマネジメントとは』の執筆協力者。



茨城大学 学長

太田 寛行 OHTA Hiroyuki

東北大学大学院農学研究科博士後期課程修了(農学博士)。専門は土壌肥科学、微生物生態学。1997年に茨城大学農学部教授、2010年に茨城大学農学部長・大学院農学研究科長、2014年に茨城大学副学長(大学戦略・IR)を歴任し、2016年4月より茨城大学理事・副学長(教育統括)を務めた。



茨城大学 全学教育機構 教授

鳧田 敏行 SHIMADA Toshiyuki

金沢大学大学院自然科学研究科地球環境科学専攻博士後期課程を単位取得退学し、茨城大学総務部総務課に文部科学事務官(一般係員)として着任。2005年3月より茨城大学の評価室(Office of Institutional Research)の専任教員として評価業務とIR業務に従事する。2016年8月より全学教育機構総合教育企画部門に異動。教育の質保証を中心に、IRおよびアセスメント関連業務を担当している。

